

第2学年国語科年間指導計画・評価規準付き（1学期）

単元9 たんぼぼ

月	単元と主な目標	時数	学習活動・学習内容	備考
6	9. たんぼぼ 【読むこと】（読み取り） 「たんぼぼ」の表現の工夫を読み取ることができる。 【書くこと】 読み取った書き方の工夫をもとに紹介文を書くことができる。	11	1. 生活科で育てている植物のことを交流する 2. 「たんぼぼ」を読み、表現の工夫を読み取っていく。 3. 生活科で育てている植物のことを調べ、ワークシートに書く。 4. ワークシートを交流する。 5. 学習をふりかえる。（客観テスト）	学習活動1では、何も調べない状態で、育てている野菜について説明するワークシートを書いてみる。 表現の工夫として、花・根・種・育ち方など、順番に説明されていることを中心に読みとるようにする。 学習活動3では、図書室やインターネットで調べるとはかまわない。でも、書く際には、低学年でもわかるように書き直す必要がある。 交流は、生活班で行うとよい。

主に評価すること

読むこと		「たんぼぼ」の表現の工夫を読み取ることができる。		「たんぼぼ」の表現の工夫を読み取ることができない。
具体的な姿		<ul style="list-style-type: none"> たんぼぼについての花びら、葉、根、種、育ち方について読みとっている。 文章構成（どのような順序で説明されているのか）を読みとっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 読みとったことを授業中のワークシートや客観テストで評価した際に、間違った読みとりが多い。
書くこと		読み取った書き方の工夫をもとに紹介文を書くことができる。		読み取った書き方の工夫をもとに紹介文を書くことができない。
具体的な姿		<ul style="list-style-type: none"> 育てている花や野菜についての説明的な文章を書く際に、読みとった表現の工夫を用いて書いている。 書かれた文章に、育ち方の順番、花を根から上に説明しているなどの順序性が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 書かれた文章に表現の工夫が用いられていない。 表現の工夫を用いて書いていても、同じ低学年が呼んだときに、わからない表現がある。（資料をそのまま写すなど） 書かれた文章に順序性が見られない。または、順序がバラバラである。

参考

関心・意欲・態度の評価については、単元全体を通して行ってください。